

2019年8月8日
東急不動産株式会社
鹿島建設株式会社
一般社団法人竹芝エリアマネジメント
株式会社アルベログランデ

スマートシティを目指す最先端の街“竹芝”にて、今年は“ロボット”もおもてなしに参加
第5回「竹芝夏ふえす TAKESHIBA Seaside Music & Dining」
2019年8月21日（水）～23日（金）開催
～東京都と連携、先端技術を用いたサービスロボットの实証フィールドに～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈郁仁）と鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、社長：押味至一）は、共同で開発する「(仮称)竹芝地区開発計画」におけるエリアマネジメントの一環として、株式会社アルベログランデ*1 および一般社団法人竹芝エリアマネジメントと共に、第5回「竹芝夏ふえす TAKESHIBA Seaside Music & Dining」(以下「本イベント」という。)を2019年8月21日(水)～23日(金)に竹芝客船ターミナルにて開催します。本イベントでは先端技術を用いたサービスロボットの实証フィールドとして東京都と連携し、東京都主催の先端テクノロジーショーケーシング事業(事業名 Tokyo Robot Collection)を同時開催します。

※1 株式会社アルベログランデ:東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が設立した事業会社

また、本イベントでは東京都屋外広告条例の規制緩和に向けた実証実験として、会場に隣接する建物を用いたプロジェクションマッピングイベント「TAKESHIBA TOWN OF LIGHT FESTIVAL」も実施し、会場や東京湾からの眺めを美しく彩ります。



竹芝エリアでは、「(仮称)竹芝地区開発計画」およびエリアマネジメント活動を展開する竹芝地区(28ha)において、先端技術を取り入れた「スマートビル・スマートシティ」の開発を推進しており、今回、その取り組みの一環として、本イベントを「街全体のロボット実装化に向けた実証実験」の場として提供。調理ロボットやコミュニケーションロボットなど、公募によって選ばれた様々なサービスロボットが「夏ふえす」を舞台に活躍します。

本イベントでは、ジャズ・ポップス&ハワイアンミュージックの生演奏や、地域の学生によるダンスや演奏も披露される「音楽ステージ」。島しょ地域のドリンク提供や、島しょのPR写真展を展開する「TAKESHIBA 島しょ Station Bar」。会場内に遊びに来ている家族や観光客の方々と一緒に涼を感じる「打ち水」等、来場者が楽しめる内容を充実させています。また、海の玄関口である竹芝という立地を最大限活かし、東日本旅客鉄道株式会社と連携を行い、東京湾を周遊する遊覧船の特別運行を予定。水上からも、プロジェクションマッピングの景観を楽しんでいただけます。

■ 「Tokyo Robot Collection」 との連携について

【参加事業者一覧】

	イメージ図	ロボット名/【種類】	応募者
1		サービスがやってくるソリューション 『スマートショップ』 【移設可能なミニ店舗を組み合わせた追従 運搬ロボット】	一般社団法人 C i P 協議会
2		RS003N 【操作体験ロボット教室】	川崎重工業株式会社
3		OctoChef 【調理ロボット(たこ焼き・ビールサーブ)】	コネクテッド ロボティクス株式会 社
4		Hot Snack Robot 【調理ロボット(ホットスナック)】	
5	 特許出願準備中につき画像非掲	操作者の能力を向上させる遠隔操作ロボッ ト 人を立ち止まらせる声かけロボット 【コミュニケーションロボット】	株式会社サイバーエ ージェント/ 国立大学法人大阪大 学(先端知能システム 共同研究講座)
6		REBORG-Z (リボーグゼット) 【警備ロボット】	総合警備保障株式会 社
7		poimo (Portable and Inflatable Mobilit y) 【パーソナルモビリティ】	株式会社メルカリ/ 国立大学法人東京大 学川原研究室・ 新山研究室

※アルファベット・五十音順にて記載

【実証フィールドとしての竹芝の特徴】

2020年に向け、東京の空と海の玄関口に位置する竹芝地区では、都市再生ステップアップ・プロジェクトをベースとして、スマートシティ、スマートビルを形成することで国際ビジネス拠点を目指した開発を進めています。将来は、街づくりにロボット等の次世代先進技術を活用し、街の活性化や課題解決を目指しています。

本イベント(竹芝夏ふえす)は、竹芝ふ頭にて実施され、地域活性化を目的とし、音楽ライブ及び飲食空間(ビアガーデン)の提供、プロジェクトマップを実証するほか、本年度は会場のあらゆる場所でロボット実証を行います。来場客数は6000人程度を見込んでおります。

■第5回「竹芝夏ふえす TAKESHIBA Seaside Music & Dining」について

【開催期間】 2019年8月21日（水）～23日（金） 17:30～21:00

【開催場所】 竹芝客船ターミナル

【主催】 一般社団法人竹芝エリアマネジメント

【共催】 指定管理者 東京港埠頭・テレポートセンターグループ、株式会社東京テレポートセンター

【協賛】 東日本旅客鉄道株式会社

【後援】 東京都、港区、竹芝地区まちづくり協議会、東京都島嶼町村会、公益財団法人東京都島しょ振興公社、公益財団法人小笠原協会、小笠原村、小笠原村観光局、一般社団法人東京諸島観光連盟、一般社団法人東京都港湾振興協会、株式会社ゆりかもめ

【特別協力】 一般社団法人日本ジャズ協会

【協力】 東海汽船株式会社

<本イベントの主な実施内容>

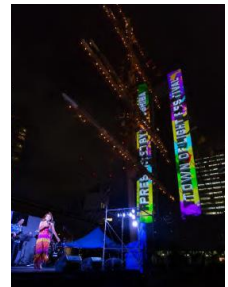
① ミュージックステージ

2日目のステージでは、昨年につき、竹芝客船ターミナル「ミュージックフェス」と連携し、ジャズ・ポップス&ハワイアンミュージックの生演奏を提供します。そのほか、都立大島海洋国際高校吹奏楽部や都立芝商業高校ダンス部、合唱同好会のステージなど、地域の学生も活躍！



② プロジェクションマッピング「TAKESHIBA TOWN OF LIGHT FESTIVAL」

Seaside Music & Dining と同時開催として、「TAKESHIBA TOWN OF LIGHT FESTIVAL」が行われます。本イベントは、屋外広告条例の規制緩和に向けた実証実験として展開されるもので、ステージ周辺の壁面を使ったプロジェクションマッピングは、東京湾からの眺めも美しく彩ります。



③ TAKESHIBA 島しょ Station Bar

竹芝ふ頭のデッキでは、島しょ地域のドリンクを楽しめる Bar カウンターと、南国風アイテムを活用したブースのほか、島しょ PR 写真展を設置します。



④ 竹芝打ち水大作戦

東京都打ち水日和の意義のもと、竹芝の就業者、居住者、来街者と共に、竹芝夏ふえすの開催に合わせ、おもてなしとして打ち水を実施。竹芝夏ふえす会場内に遊びに来ている家族や観光客の方々と一緒に、打ち水で涼しくするイベントです。

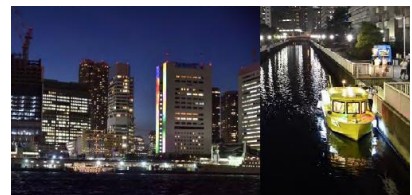
○開催日時：2019年8月21日（水）17時15分～17時25分

○場所：ふ頭マスト広場中央



⑤ 舟運

夏ふえす開催中の3日間天王洲エリアと竹芝ふ頭を結ぶ水上タクシーの運行を、22日、23日には竹芝ふ頭から東京湾を周遊する遊覧船を運行し、舟運の活性化・水辺空間の魅力向上に繋がります。遊覧船からはプロジェクションマッピングで彩られる会場を眺めることもできます。



■（仮称）竹芝地区開発計画について

本プロジェクトは、東京都の「都市再生ステップアップ・プロジェクト」の一つとして行われるもので、国家戦略特別区域計画の特定事業における整備方針に基づき、業務棟と住宅棟から成る総延床面積約 20 万㎡の複合再開発を進めています。

また、都営施設である東京都立産業貿易センターを一体整備し、官民が連携してさまざまなサービスや空間機能を提供することで、中小企業や次世代産業の支援を行います。このほか、各種商業施設や、先端設備を完備するコンテンツメディアホールも整備されます。

さらに、新たな賑わいの創出や地域コミュニティの形成を目的に、企業や行政機関などの関係者と連携し、竹芝地区でエリアマネジメント活動を展開。首都高速道路を跨ぎ浜松町駅／竹芝駅・竹芝ふ頭までをつなぐ、全長約 500mのバリアフリーデッキによる歩行者ネットワークの整備や防災対応力の強化といった周辺環境の向上を図りながら、竹芝に新たな国際ビジネス拠点を創出します。

なお、A街区（業務棟）オフィスには、ソフトバンクグループ株式会社ならびにソフトバンク株式会社の本社移転が決定、2020 年度中に移転する予定です。これを機に、東急不動産とソフトバンクは、竹芝地区において、都市再生への貢献や産業振興の加速などに向けて、最先端のテクノロジーを街全体で活用するスマートシティの共創を目指し、竹芝地区でデータ活用やスマートビルの構築に共同で取り組みます。

事業主体：株式会社アルペログランデ

（本施設を整備するため、東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が設立した事業会社）

所在地：東京都港区海岸一丁目 20 番 9 他

敷地面積：約 15,590 ㎡

延床面積：約 201,159 ㎡

開業：2020 年夏（予定）



左）（仮称）竹芝地区開発計画のイメージ

右）「（仮称）竹芝地区開発計画」並びに「竹芝地区エリアマネジメント」の対象範囲